

お名前	性別	満年齢	終戦時の年齢	現住所
匿名	男性	76歳	11歳	八名井

清水野国民学校5年生

- ① 8月15日は、どこでどんなことをしていましたか。  
学校にいたと思います。
- ② 終戦のことを、どこで、どのように聞かれましたか。  
ラジオで聞いた。
- ③ 敗戦を知らされた時の気持ちやその時の様子  
この先どうなるか心配した。
- ④ 体験の中で、子どもたちに語り伝えておきたいこと

### 「食べるものがなくて……」

お米を作っても供出きょうしゅつで取られてしまい、家で食べるものはあまりなかった。麦のご飯にイモや菜類を入れて量を増やして食べたり、雑炊ぞうすいを食べたり、サツマイモ、ジャガイモをご飯代わりにしたりした。お米のご飯を食べることはほとんどなかった。常に腹はらいっぱい食べられず、家族で分け合あって食べた。夏は、麦ご飯がいたみやすく、捨てるのはもったいないから、水で洗って食べたこともあった。

### ○ 怖い思い出

真夜中に、焼夷弾しょういだんが500m離れた江島村はなえじまに落ちた時、すごい音がしたと思ったら、前の山が昼間のように明るくなり、山に落ちたと思い、びっくりした。その後、B29せんかいが旋回してきて、また落とされるか心配だったが、落とさずに行きほつとした。

この時、江島で5軒が焼夷弾しょういだんの被害ひがいにあい、非常に怖い思いをした。



▲ 学童服 協力：豊橋市教委

### 配給制になったものと時期

・綿製品	1938(昭13)年3月
・ガソリン	〃 5月
・配合肥料	1939(昭14)年8月※
・砂糖	1940(昭15)年7月※
・衣料品	〃 10月※
・木炭	〃 10月
・マッチ	〃 11月※
・育児用乳製品	〃 11月
・小学生服	1941(昭16)年1月
・小麦粉	〃 4月
・酒、ビール	〃 5月
・米	〃 8月※
・食用油	〃 9月
・卵	〃 10月
・お菓子	〃 12月
・みそ、しょうゆ	1942(昭17)年1月

※は新城地区、他は愛知県の配給時期

(参考 新城市史、愛知県昭和史)